

# OBM マンスリー

## 2019.10月号 Vol.234

2019年10月25日発行

編集・発行

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会

大阪市西区江戸堀2丁目6番33号  
江戸堀フコク生命ビル10F

TEL 06-4256-5371 FAX 06-4256-5375

Eメール osakabma@obm.or.jp

ホームページ www.obm.or.jp



## わが社の **イチオシ!**

### 株式会社ジェイアール西日本総合ビルサービス

#### 危険体感VRを用いた安全教育

弊社は、JR西日本グループの一員として、駅ビルを中心とした商業施設・ホテル等の設備管理・警備業務などのサービスを提供しています。弊社の社員研修センターでは、お客様のニーズに応じて、安全・安心かつ高品質・高機能なサービスを提供するために、設備管理や警備業務に関する実際の業務を模した実践的な研修環境を整えて、知識・技術・技能を体得できるようにしています。

##### 1. 安全体感研修

安全体感研修は労働災害の防止を目的とし、設備管理系統の社員約400名を対象に、3年で一巡するように計画を立てて実施しています。

従来の研修では、感電体感装置や巻き込まれ体感装置などを用いて研修を行っていましたが、2018年度からはVRを導入したことにより、事故を体感し心理的に「怖い・嫌だ!」と感じさせ体感者の危険感受性を高めることで、安全意識の向上を図っています。

##### 2. VRによる研修の内容

弊社ではVRによる体験として、転落事故・電源盤感電事故・階段降下中転倒の3つのシナリオを導入しており、見る・聞くだけでは記憶に残らない部分を補うために、VRゴーグルを装着し現場に入り自らの危険な行動で事故が発生する体験により、社員の安全意識向上に繋がっています。



VR体験



高所からの墜落体験 (VR映像)



高所からの墜落体験 (VR映像)

##### 3. 危険体感VRの体験者感想

- ・実際に起こる事象を体験する事で、イメージが鮮明になり今まで以上に注意をしようと思う。
- ・臨場感があり、あまり体験できない状況を再現出来ているのでより安全作業への意識が高まった。
- ・疑似体験とは分かっていても、VRを装着して体感すると体が反応するし怖かった。
- ・実際に被災したかのような臨場感があり、安全態度の向上にとっても役立つと感じた。

今後もVRシナリオ追加などを行い、安全意識を高めて労働災害の防止のためにより良い研修にしていきたいと考えています。今回ご紹介した危険体感VRは臨場感が高く社員にも好評でしたので、皆さまの会社でも導入を検討されてはいかがでしょうか。

設備管理部 近藤 択哉

## ズームアップ

### 「施設見学会に参加して」

3月に名古屋市西区にある「トヨタ産業技術記念館」に赴き、9月には京都府舞鶴市にある「舞鶴赤レンガパーク」の施設見学会に参加しました。

トヨタといえば自動車が有名ですが、元々は布を織る機械（織機）を開発していました。トヨタ自動車は1933年に豊田自動織機製作所に自動車部を豊田喜一郎が設立したのが始まりです。「自動車のしくみと、開発・生産技術」の移り変わりや時代の技術進歩の過程がよく分かりました。

舞鶴赤レンガパークでは当時、外国産の鉄骨が使用されるなど、国内の工業の未熟さを感じられる一方で、後の大正期に建てられた倉庫と比べ、外観に意匠的な工夫が凝らされており、急ピッチで進められた工事であるにもかかわらず、丹念に作られているのが興味深いところです。当時の技術での作り手の想いや姿勢が感じられる場所となっております。

今回参加したことを受けて「温故知新」という言葉が私の頭に思い浮かびました。意味として改めて調べましたが「以前学んだことや、昔の事柄を今また調べなおしたり考えなおしたりして、新たに新しい道理や知識を探り当てること」と伝えられております。

長年、業務に携わっていると自分の中で慢心や慣れが出やすくなります。それは日々の業務で忙しいと目の前のことのみが最優先されやすくなります。

時代の流れとともに、日々の接し方・働き方にも変化があり、時にはその変化を受け入れなくてはいけないこともあります。今までの諸先輩方の想いや作り手の気持ちは永遠に継承し受け継ぐことは大事かと思っております。

「基礎を大事にすることは基本的に振り返ること」「一度、立ち止まることも大事である」参加だけで終わってしまうことがないように私の中で初心に返ることが出来た貴重な見学会でした。

(環境衛生委員会 宮内 俊和)

## 2019年度 第4回 理事会

10月4日(金) 協会会議室

### 1. 審議事項

- ①正会員入会について/承認  
・サンコービルサービス株式会社  
・大和ライフネクスト株式会社
- ②特別委員会(担当)一部修正について/承認
- ③大阪協会専門委員の推薦について/承認  
・大阪協会専門委員(ビル設備主席検定員)岸本隆司氏  
・大阪協会専門委員(ビル設備検定員)寺本博行氏
- ④災害協定締結に係る大阪協会事務局BCP作成及び予算について/作成:承認

### 2. 全協報告事項

- ①東京2020オリンピック・パラリンピック選手村ハウスキーピング業務の受託について
- ②ビルクリーニング分野特定技能1号評価試験官の推薦状況  
(大阪2名、京都1名、兵庫1名、滋賀1名、奈良4名)  
10月23日全国水準調整会議
- ③ビルクリーニング分野特定技能1号評価試験制度説明会について  
10月28日(月)予定(支援センター)

### 3. 委員会報告事項

- ①委員会部会報告

- 議案① 議事録確認
- 議案② 理事会報告
- 議案③ 講演会演者選定

### 公益・契約委員会

8月21日(水) 出席者9名 協会会議室

- 議案① 天神祭ボランティア反省会
- 議案② 政策要望について
- 議案③ 社会貢献セミナーについて

### 設備保全部会

9月20日(金) 出席者18名 協会会議室  
第3回設備保全部会

- 議案① 各小委員会活動報告
- 議案② 東西交流会について

### 特別委員会

9月27日(金) 出席者7名 協会会議室  
第2回特別委員会

- 議案① 特別委員会の構成について
- 議案② 万博開催までの主な活動について
- 議案③ ワーキンググループの今後の課題
- 議案④ 「大阪PCOフォーラム」について

## 委員会・部会

### 経営委員会

7月29日(月) 出席者10名 協会会議室

- 議案① 理事会報告
- 議案② BCP講座について
- 議案③ マナー講習会について
- 議案④ 災害協定の締結に関する件

9月24日(火) 出席者12名 協会会議室

- 議案① 理事会報告
- 議案② マナー研修指導者養成講座について
- 議案③ 災害協定締結説明会に関する報告
- 議案④ 災害協定締結に関する報告
- 議案⑤ 災害協定履行並びにBCP講座に関する協議

### 広報委員会

9月17日(火) 出席者9名 協会会議室

- 議案① 「OBMマンスリー2019年9月号」の編集
- 議案② OBM特別委員会との連携
- 議案③ ビルメンヒューマンフェアの取材について
- 議案④ 外国人技能実習生などに関するアンケート及びスピーチコンテストについて
- 議案⑤ こみゆにけ〜しよんず新春号の編集計画

議案⑥ JR西日本メンテック研修センターの見学について

### 労務委員会

9月6日(金) 出席者14名 ドーンセンター

- 議案① 労働衛生大会 進行・担当等の確認
- 議案② 各地協会・団体 安全衛生大会について
- 議案③ 10/23(水)~25(金)第78回全国産業安全衛生大会について
- 議案④ 9/30(月)KYTセミナーについて
- 議案⑤ 労災・通災発生報告(7月度、8月度)

10月15日(火) 出席者10名 協会会議室

- 報告① 労働衛生大会報告
- 報告② 9/30 KYT・リスクアセスメントセミナー報告
- 報告③ 9月度労災・通災発生報告(業災7件、通災1件)※他地区災害報告2件、8月度1件
- 議案① 各地協会・団体 安全衛生大会について
- 議案② 労務管理セミナーについて

### 環境衛生委員会

9月11日(水) 出席者13名 京都府舞鶴市内  
※舞鶴赤レンガパーク(舞鶴市)見学会の後に開催

## 会員だより

### ●入会

#### 【正会員】

- ・サンコービルサービス株式会社  
代表取締役会長 竹田 政美 様  
〒596-0821  
岸和田市小松里町2189番地  
TEL 072-440-3100 FAX 072-440-3579  
(2019年10月1日付)
- ・大和ライフネクスト株式会社  
常務取締役 牛石 知也 様  
〒550-0005  
大阪市西区西本町2-3-6  
山岡ビル7階  
TEL 06-6536-6280 FAX 06-6536-6281  
(2019年10月1日付)

#### 【賛助会員】

- ・フィリップモリスジャパン合同会社  
関西リージョン リージョンジェネラルマネジャー  
中西 一郎 様  
〒530-0003  
大阪市北区堂島2-4-27  
新藤田ビル15階  
TEL 06-4798-1767 FAX 06-4798-2028  
(2019年10月1日付)

## ●代表者変更

### [正会員]

- ・信栄ビルサービス株式会社  
(新) 会長 山田吉孝様  
(新) 代表取締役 服部友哉様  
(旧) 代表取締役 山田吉孝様  
(2019年10月より)
- ・日本郵便オフィスサポート株式会社 近畿支社  
(新) 支社長 三嶋吉博様  
(旧) 支社長 木本祥史様  
(2019年10月1日より)

## 講習会お知らせ

### 教育センターだより

#### (公財)日本建築衛生管理教育センター講習会予定

- 防除作業監督者(新規)
  - ・受付期間 2019年10月17日(木)~31日(木)
  - ・実施期間 12月9日(月)~13日(金)
- 清掃作業監督者(再)
  - ・受付期間 2019年11月14日(木)~28日(木)
  - ・実施期間 2020年1月10日(金)
- 清掃作業監督者(新規)
  - ・受付期間 2019年11月19日(火)~12月2日(月)
  - ・実施期間 2020年1月15日(水)~16日(木)

#### ●貯水槽清掃作業監督者(新規)

- ・受付期間 2019年11月21日(木)~12月5日(木)
  - ・実施期間 2020年1月20日(月)~21日(火)
- ☆いずれも阪急千里中央ビルにて

※申込期間中、早めにお申し込み下さい。  
用紙のダウンロード・お申し込みは公益財団法人日本建築衛生管理教育センターへ。  
(ホームページ <http://www.jahmec.or.jp/>、  
TEL 06-6836-6605)

## 心のワールドカップ

理事 脇阪康弘

ラグビーワールドカップ日本大会は13日に予定されていたB組最終戦のカナダ対ナミビア戦が台風19号の影響に依って中止に成った。この結果カナダは戦う事無く無念の最下位が決定したが、カナダチームは台風の爪痕残る釜石に留まり、泥掃除などのボランティア活動に参加した。

釜石に刻まれた自然災害の爪痕にカナダの選手は立ち上がったのです。

カナダの代表選手たちは、釜石市内の住宅街の道路にたまった泥を、ラグビーボールではなくスコップに持ち替えて、懸命にポリ袋に泥を詰め込む活動を行ったのです。

何がカナダメンバーをボランティアに駆り立てたのか、一部のメンバーがその理由を明かしている。「試合がキャ

ンセルとなって我々は落胆した。しかし、ラグビーよりも遥かに重要なものが存在する。釜石で人々の住む数多くの壊れた家を見た。それを見て我々に出来る事で有れば、どれだけ小さい事でも、彼らの手助けに成る事はしようとしたのです。」

日本国内での事前合宿などで地元と絆を育んできたカナダ、心からの惜しみない声援などで大会を盛り上げてくれた地元釜石そして日本に感謝したいという思いが、ボランティア活動という感謝の行動に駆り立てたのではないかと考えてなりません。

ピッチ上で勝敗を争うだけが、ワールドカップの役割ではなく、釜石で見せたカナダ代表のボランティア精神は、ラグビーのワールドカップをも凌駕して、人間の本来の持つ心の大切さを教えてくれ、心のワールドカップに昇華したのではないのでしょうか。

カナダメンバーの心優しき精神は、これからの釜石そして日本に於いて、長きに亘り語り継がれることでしょう。

## KKCお薦め講習会(12月)

12月実施予定のKKC主催の講習会は下記のとおりです。

詳細は、随時会員企業様に郵送している開講案内、または、KKCホームページ(<http://www.bmkkc.or.jp/>)にてご確認ください。ご希望の方は申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

### ●防除作業従事者研修

厚生労働大臣より登録を受けたKKCが実施し、修了者には「修了証書」を交付します。

<日時>12月3日(火)9時20分~17時

<会場>江戸堀フコク生命ビル10階講習会場

<対象>「建築物における衛生的環境の確保に関する法律(建築物衛生法)」第12条の2第1項第7号の登録を受けている事業所及び受けようとする事業所の従事者

### ●派遣元責任者講習

修了者には労働者派遣事業の許可・更新手続きに必要な「受講証明書」を講習当日交付します。

<日時>12月5日(木)9時30分~17時15分

<会場>江戸堀フコク生命ビル10階講習会場

<対象>企業内派遣元責任者

※次回の開催は、2月18日(火)の予定です。

### ●ポリッシャー基本実技講座

ポリッシャーを正しく安全に使えるようにすることを目的に開催。ポリッシャー操作の反復訓練のみを行います。

<日時>12月11日(水)13時~17時

<会場>江戸堀フコク生命ビル8階講習会場

<対象>全く初心者の方、スムーズに動かしたい方、コードさばきができるようになりたい方など。少人数制でレベルに合わせて練習します

### ●「警備員現任教育」について

これまで、KKCは「警備業法等の解釈運用基準」に規定された部外実施教育として、警備業者に代わり法定教育を実施してきました。(対象:施設警備業務(1号業務)※機械警備業務を除く)

令和元年8月30日、警備業法施行規則の一部改正により、警備員の教育時間数に変更され、現任教育(一般警備員)は年度ごとに10時間以上(基本教育と業務別教育の時間数を統合)の教育時間となりました。令和元年度の前期教育としてすでに8時間の教育を受けている方々は、残りの2時間以上の教育を受ける必要があります。

KKCでは、令和元年度の教育として2時間の教育を令和2年2月と3月に実施する予定で進めております。確定しましたら出来るだけ早くご案内させていただきます。

申込・問合せ先:一般社団法人関西環境開発センター(KKC)教育訓練部

電話:06-4256-5520

FAX:06-4256-5521

E-MAIL:bmkkc@swan.ocn.ne.jp

URL:<http://www.bmkkc.or.jp/>

OBM行事予定

10月	25	金	警備防災部会全体集會 特別委員会 ビルメン青年部全国大会(愛知、～24日)
	26	土	
	27	日	
	28	月	特定技能制度及び評価試験解説セミナー
	29	火	中間監査 ビルクリーニング部会
	30	水	設備保全部会
	31	木	障害者雇用支援スタッフ養成講座③
11月	1	金	三役会議・理事会 ビルクリーニング技能競技会特別訓練③
	2	土	
	3	日	文化の日
	4	月	振替休日
	5	火	総務友好委員会 ビルクリーニング技能検定水準調整会議 ビルクリーニング技能検定基礎級
	6	水	ビル設備管理科訓練水準調整会議
	7	木	環境衛生委員会 青年委員会 建築物清掃管理評価(インスペクター)資格者フォローアップ講習会①
	8	金	②
	9	土	
	10	日	
	11	月	ビルクリーニング受検対策講習会水準調整会議
	12	火	ビルクリーニング受検対策講習会1級実技①班
	13	水	ビルメンヒューマンフェア&グリーンEXPO2019(東京ビッグサイト、～15日) ビルクリーニング部会研修旅行(～14日)
	14	木	ビルクリーニング受検対策講習会1級実技②班
	15	金	
	16	土	
	17	日	
	18	月	公益・契約委員会 KKCビルクリーニング基本実技講座
	19	火	経営委員会 特別委員会
	20	水	広報委員会 労務委員会 ビルクリーニング受検対策講習会1級学科①
	21	木	マナー研修指導者育成講座② 設備保全部会東西交流会(北浜フォーラム、～22日) ビルクリーニング受検対策講習会1級学科②
	22	金	3級学科
	23	土	勤労感謝の日
	24	日	ビルクリーニング技能検定実技ペーパーテスト及び学科試験 (TKPガーデンシティPREMIUM心斎橋)

労務委員会 労働災害事故事例 (2019年9月度発生分より)

1. 業務災害及び通勤災害数

- ①報告企業数 45件
- ②業務災害数 7件  
[内 訳] 1ヶ月以上休業見込み 2件  
15日以上休業見込み 1件  
14日未満休業見込み 4件
- ③通勤災害 1件

2. 事故事例

- ①発生日時 2019年9月20日(金)午後8時50分頃
- ②発生場所 大阪府池田市
- ③年齢・性別 70歳 女性
- ④発生状況 空調機の水滴除去作業を行おうとした際に、キャスト付の椅子の上に立ち、バランスを崩して転落した。
- ⑤怪我の状況 左足骨折
- ⑥原因及び対策 不安定な椅子の上に立ち、本来は不可であるはずの高所作業、仕様外の作業を独断で行った。  
日常清掃は手の届く範囲のみ実施することを徹底し、通常と異なることがあれば指示を仰ぐことを習慣づける。  
椅子の上などの不安定な場所での作業は大変危険であり、大きな事故の原因となるので行わないよう再教育する。

大阪労働局からのお知らせ

労働者を1人でも雇用していれば、  
労働保険に加入する義務があります。

事業主の皆さま、労働保険の成立手続はお済みですか？

労働保険とは、「労災保険」と「雇用保険」の総称で、国が管掌する強制保険です。  
労働者を一人でも雇っていれば、各保険の加入要件を確認の上、手続を行ってください。

《お問合せ》

「労災保険」については、労働基準監督署へ  
「雇用保険」については、ハローワーク(公共職業安定所へ)  
大阪労働局のホームページ(下記アドレス)では、労働保険に関する詳しい説明(バナー「労働保険」)や労働基準監督署、ハローワークの情報を掲載しております。

大阪労働局  
労働保険適用・事務組合課 (06-4790-6340・6350)  
雇用保険課 (06-4790-6320)  
大阪労働局ホームページ  
<http://osaka-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp>

おたより紹介コーナー

『おたより紹介』のコーナーへの  
投稿を募集しています

- 題材・・・自由。  
協会への提言、季節雑感、詩、短歌、俳句、川柳等々、何でも結構です。
- 字数・・・15字×16～19行の間に、本文、会社名、筆者名を全て記入して下さい。

編集雑感

前へ

勝った。また勝った。桜の戦士の快進撃でラグビーワールドカップ日本大会が大きく盛り上がっている。優勝候補である強豪アイルランドに勝利し、前回大会で敗れたスコットランドに雪辱を果たし、史上初の決勝トーナメント進出が決定したのだから当然である。

台風による甚大な被害がテレビ報道されていた日、私の目は日本選手のトライと、力強いタックル、素早いパス回しに釘付けだった。完勝ムードの前半戦から一転、後半はハラハラドキドキの試合となったが、感無量の日だった。

私がラグビーに興味を持ったのは1990年代30歳を過ぎた頃からだ。大学ラグビーが好きで、「魂のタックル」慶応大学、「展開ラグビー」早稲田大学、「重戦車フォワード」明治大学の試合を楽しみにしていた。取り分け「早明戦」は熱狂した。明治大学は重戦車と呼ばれるフォワードがスクラムを組み、相手を押しながらボールを前へ運びトライするスタイルであり、強かったが私はあまり好きではなかった。一方、早稲田大学は、走ってパスを回しながら前進する展開ラグビーがチームスタイルであり、躍動感を与えてくれたのを覚えている。

好きなチームではなかったが、北島忠治監督は忘れられない。北島監督は67年間チームを率い「前へ」の精神を選手に

植え付け、明治大学の強力フォワードを作り上げた。監督から指導を受けた人の記事を目にした。「前へ」の精神とは、「勝利より、逃げない姿勢。仲間のために体を張り、ルールを守る事。大学生活4年をかけて、その精神を自分なりに噛み砕き、身につける」ということである。

私も還暦を過ぎ、仕事、家庭、人間関係、自己の健康などで、思い通りにならなかったり、うまくいかなかったりと悩みは多い。しかし、どんな困難な状況に置かれても、気持ちは「前へ」を持ち続け、情熱をもって着実に一歩ずつ「前へ」進んでいきたい。北島監督の遺訓を持ち続けたい。

(M・Y)